

校長室だより

令和2年10月12日
校長 齋藤 瑞穂



「死の商人、死す。」 ～ ノーベル賞に込めた思い ～

みなさんはノーベル賞を知っていますか？ダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベルさんの遺言によって、1901年から始まった世界的な賞です。



物理学、化学、生理学と医学、文学、平和の5分野と、遺言とは別に、あとから加わった経済学で、素晴らしい功績を挙げた人へ贈られます。日本では、これまで25名、日本出身の人を加えると30名の科学者、文学者、政治家の方々が受賞しています。一番最近では、昨年、吉野 彰 博士 がリチウムイオン電池の開発で受賞しましたね。

さて、ノーベルさんは、なぜそんな遺言を残したのでしょうか。ノーベルさんは、ダイナマイトを発明したことによって大変な財産を築きました。ダイナマイトだけでなく、様々な火薬も発明しました。この火薬類は、何に使われたのでしょうか。もちろん、当時の大切なエネルギー資源だった石炭を掘る炭鉱開発など、産業のために大いに役立ったのですが、残念ながらそれだけでなく、戦争に使う兵器としても利用されたのです。

こんな話が残っています。ノーベルさんのお兄さんが亡くなったとき、ある新聞はノーベルさんが亡くなったと勘違いし、「死の商人、死す。」と大きな見出しで知らせたそうです。ノーベルさんはその見出しを見て、大変驚き、ショックを受けるとともに、考えました。このまま自分が死んだら、のちの世の人々は、自分を戦争で多くの富を築いた死の商人として記憶するのか、と。それはどんなに不名誉なことでしょう。そして、「人類と人類

の未来のために力を尽くした人へ、自分の築いた財産のすべてをささげて賞を作ろう」と思い立ち、それを遺言として残したのです。

先週発表された今年のノーベル賞には、残念ながら日本人の受賞者はいませんでした。しかし、国籍や人種、宗教や、年齢、性別に関わらず、世界のため、人類のために活躍した人たちが、この名誉ある賞を受けました。それぞれどんな功績で賞を受けたのでしょうか。興味をもった人は、ぜひ調べてみてください。



今年の化学賞受賞者
ジャハナバ博士(左)とグロ博士

ノーベルさんの思いは受け継がれています。

クイズ この実、何の実？

黄色いサクランボより少し大きいくらいの実が、鈴なりについていました。落ちているものもちらほら…。そろそろ強においがしてくるでしょう。

さて、この実は何の実でしょう？

ヒントは葉っぱの形です。特徴的なのですぐわかるかな？

分かった人は、校長先生まで知らせてください。(校長室前にはカラーの写眞があります。)



保護者の皆様

秋も深まって日中と朝晩の気温差が大きくなり、体調を崩しやすいこの頃ですね。今週末の1,2,3年生の体育的行事に向け、子供たちは練習に一生懸命です。全員元気に参加し、練習の成果を思う存分発揮できるよう、体調管理をよろしくお願いします。